

企画展

珠洲焼の流通と 富山の中世遺跡



2025年

8/23(土) ▶

2026年

2/1(日)

- 開館時間 9:00~17:00 (入館は16:30まで)
- 休館日 年末年始(12/28~1/4)
- 観覧料 大人100円、高校生以下無料

富山市考古資料館

富山市安養坊47-2 (富山市民俗民芸村内)

TEL 076-433-8634

<https://www.city.toyama.toyama.jp/erc/minzokumingei/>



●学芸員による解説会

8月30日(土)、9月20日(土)
午後2時~

観覧料のみ必要、申込不要

珠洲焼 叩壺 室町時代前期 (伝)富山市出土
富山市教育委員会所蔵

記号みたいのが
書いてあるよ！



穴があるね！
なぜかな？



珠洲焼の流通と富山の中世遺跡



富山の中世の暮らしを支えてくれたんだね！

破片がいっぱいじゃのお



珠洲焼は古代の須恵器の技法を受け継いだ灰黒色のやきもので、平安時代末期（12世紀中葉）から室町時代後期（15世紀末葉）にかけて、能登半島の珠洲郡内（現在の珠洲市および能登町の旧内浦町域）で生産されました。

北海道南部から福井県までの日本海側を中心に広く流通し、富山市内の中世遺跡からも、貯蔵用の甕や壺、調理用の鉢のおびただしい数の陶片が出土します。これらは当地の暮らしに深く関わっていたことを物語っています。

本展では、珠洲焼の流通や変遷を中心に、同時期に出土した地元の八尾焼や漆器碗をはじめとするさまざまな木製品などを通して、現代の私たちの生活や文化の基本が中世に形作られたことをご紹介します。

この展覧会が、令和6年能登半島地震の被災地の一つである奥能登地域への関心を寄せていただくなりかけとなれば幸いです。



●写真

上：珠洲焼の壺、甕、播鉢、片口鉢

左：八尾焼の壺、甕、播鉢

右：漆器碗、簀、曲物、下駄、櫛、将棋駒

いずれも富山市教育委員会埋蔵文化財センター所蔵

●展示紹介する主な遺跡

中富居遺跡、堀I遺跡、友坂遺跡、黒崎種田遺跡、金屋南遺跡、宮条南遺跡、小出城跡、願海寺城跡、新庄城跡

●同時開催（富山市民俗民芸村内）

- ・売薬資料館
～9/23 企画展「茶木屋 中田家の薬業」
9/27～12/27 企画展「蚕の神さま」
令和8年 1/5～ 企画展「薬と音」
 - ・笹牛人記念美術館
～9/28 館蔵品展136「森田和夫と笹牛人」
10/6～ 館蔵品展137「湯筆画と色彩画」
 - ・民芸館・民芸合掌館
～10/28 民芸館開館60年記念特別展「富山と民芸運動」
 - ・陶芸館 ～11/16 企画展「やきものの模様」
 - ・民俗資料館
～12/7 企画展「お蚕さま～富山の養蚕～」
- 〈7館共通券大人530円、高校生以下無料〉

●案内図



●交通案内

車

J R 富山駅から約10分
富山IC・富山西ICから約20分
(駐車場無料)

地鉄バス

富山駅南7のりばから「新桜谷町」行き乗車、「安養坊」または「富山市民俗民芸村」下車徒歩5分

富山市考古資料館

富山市安養坊47-2

TEL 076-433-8634